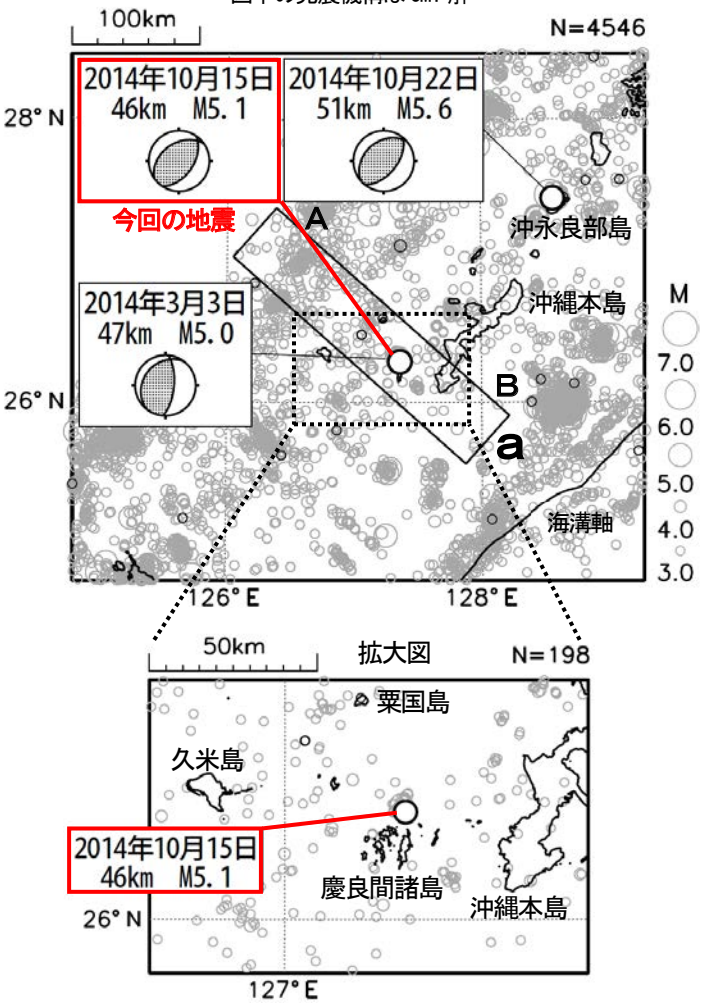
10 月 15 日　沖縄本島近海の地震

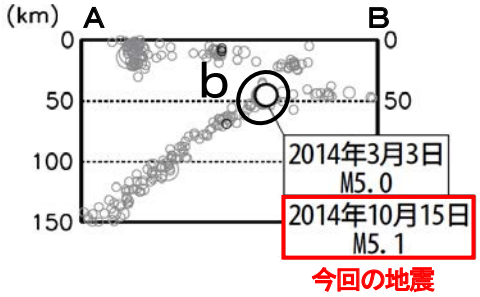
震央分布図
（2000 年７月１日～2014 年 10 月 31 日、
深さ０km～150km、M≧3.0）
2014 年 10 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



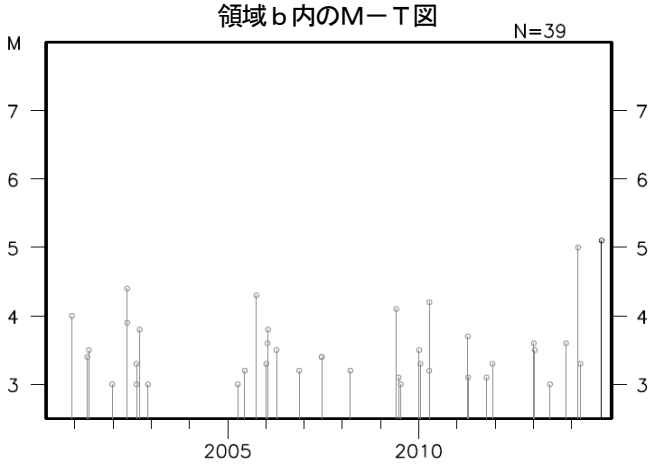
2014年10月15日07時52分に沖縄本島近海（那覇市の西北西約35km）の深さ46kmでM5.1の地震（最大震度４）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2000年７月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、2014年３月３日にM5.0の地震（最大震度３）が発生した。

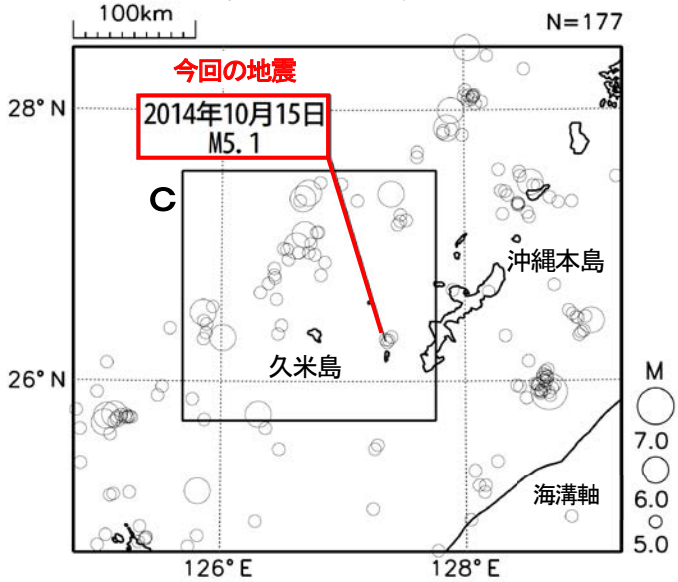
領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）

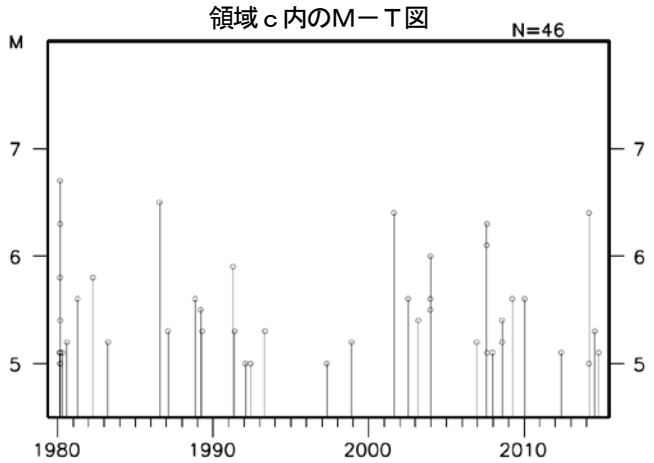


領域ｂ内のＭ－Ｔ図



震央分布図
（1980 年１月１日～2014 年 10 月 31 日、
深さ０km～150km、M≧5.0）



1980年１月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域ｃ内のＭ－Ｔ図